

科目名 (英)	歯科介護学(摂食嚥下機能訓練含む) Dental care (Therapy for Dysphagia)	必修 選択	必修	年次	3年	担当教員	齋藤 貴之
学科・専攻	歯科衛生士科 I 部	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30時間 (2)	開講区分 曜日・時間	前期 木曜日 1・2時限
【授業の学習内容と心構え】 長年歯科医師として診療に携わり、摂食嚥下に特化している講師が授業を行う。歯科衛生士として高齢化社会と摂食嚥下障害患者に対応するために摂食嚥下機能およびリハビリテーションに対する基本的な知識と技術を学ぶ。							
【到達目標】 摂食嚥下障害患者に対応するために必要な摂食嚥下機能およびリハビリテーションについて説明でき、実際の現場で対応する技術を習得する							
【使用教科書・教材・参考書】 歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション				【授業外における学習】 使用している教科書や当日の配布資料を用いて予習、復習を行い、知識を整理する			
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】 リハビリテーション総論(摂食嚥下とは) 【授業形態】 講義 【到達目標】 摂食嚥下障害の原因や重症度について説明できる			9	【授業単元】 嚥下障害と間接訓練について 【授業形態】 講義 【到達目標】 摂食嚥下リハビリテーション(間接訓練)について理解する		
2	【授業単元】 リハビリテーション総論(摂食嚥下とは) 【授業形態】 講義 【到達目標】 摂食嚥下に関わる口腔と咽頭の機能と構造を説明できる			10	【授業単元】 嚥下障害と間接訓練について 【授業形態】 講義 【到達目標】 摂食嚥下リハビリテーション(間接訓練)について理解する		
3	【授業単元】 摂食嚥下機能評価について 【授業形態】 講義 【到達目標】 摂食嚥下のスクリーニングテストについて説明できる			11	【授業単元】 嚥下障害と直接訓練について 【授業形態】 講義 【到達目標】 直接訓練における歯科衛生士の役割について説明できる		
4	【授業単元】 発達期の嚥下障害 【授業形態】 講義 【到達目標】 嚥下機能の獲得について説明できる			12	【授業単元】 嚥下障害と直接訓練について 【授業形態】 講義 【到達目標】 食支援や食事の介助方法について理解する		
5	【授業単元】 低栄養と摂食嚥下障害 【授業形態】 講義 【到達目標】 フレイル、栄養評価について説明することができる			13	【授業単元】 全身疾患と嚥下障害(事例検討) 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 脳梗塞の嚥下障害に対応できるようにする		
6	【授業単元】 口腔機能低下症と嚥下障害 【授業形態】 講義 【到達目標】 口腔機能低下症について説明することができる			14	【授業単元】 全身疾患と嚥下障害(事例検討) 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 神経疾患の嚥下障害に対応できるようにする		
7	【授業単元】 摂食嚥下障害と地域連携 【授業形態】 講義 【到達目標】 多職種役割、チーム医療について理解する			15	【授業単元】 定期試験・解説 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 摂食嚥下リハビリテーションに関連する知識を整理し、臨床の場で活用できるようにする		
8	【授業単元】 中間試験・解説 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 前期の履修内容を確認し、知識の再構築をはかる			【評価について】 評価は筆記試験にて行い、中間試験(40点満点)と定期試験(60点満点)の点数から総合的に評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	歯科衛生学実践 (Dental Hygiene Practice)	必修 選択	必修	年次	3年	担当教員	渡邊 香里
学科・専攻	歯科衛生士科 I 部	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60時間 (4)	開講区分 曜日・時間	前期 木曜日 3時限
【授業の学習内容と心構え】 歯科医院で主任歯科衛生士として予防処置業務を行っていた教員が、歯科予防処置論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲで学んだ内容を基礎に臨床実習や就職後のために知識を深め、技術を磨く。チームで業務を行う意識とイニシアチブが術者にあることを意識し取り組んでください。自ら学び、成長させる為、積極的にアドバイスをもらってください。							
【到達目標】 口腔疾患を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために必要な専門的な知識、技術および態度を修得する。 チーム医療、チーム歯科医療の一員としての歯科衛生士の役割を理解する。 人々のニーズに合った支援のため、歯科衛生士のアセスメント・診断、計画立案、介入、記録、評価ができる。							
【使用教科書・教材・参考書】 最新 歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論				【授業外における学習】 1・2年生で学習したものを、臨床実習で身につけたものが土台となった授業です。 技術はもちろんですが、知識も高めて授業に臨んでください。			
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】 歯科衛生介入 超音波スケーラー(相互) 【授業形態】 演習 【到達目標】 超音波スケーラーを用いた歯石除去ができる 探查動作、除去後の確認動作ができる 再沈着防止のための歯面研磨ができる			9	【授業単元】 患者実習リハーサル 【授業形態】 演習 【到達目標】 患者実習の流れについて通しリハーサルを行う 自分の苦手を理解し手技の確認ができる 評価表を基に自己評価ができる		
2	【授業単元】 歯科衛生介入 超音波スケーラー(相互) 【授業形態】 演習 【到達目標】 超音波スケーラーを用いた歯石除去ができる 探查動作、除去後の確認動作ができる 再沈着防止のための歯面研磨ができる			10	【授業単元】 患者実習リハーサル 【授業形態】 演習 【到達目標】 患者実習の流れについて通しリハーサルを行う 自分の苦手を理解し手技の確認ができる 評価表を基に自己評価ができる		
3	【授業単元】 患者実習説明 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 実技試験の説明と術式を確認する 評価について確認し、自分の復習が必要な内容を挙げるができる			11	【授業単元】 患者実習リハーサル 【授業形態】 演習 【到達目標】 患者実習の流れについて通しリハーサルを行う 自分の苦手を理解し手技の確認ができる 評価表を基に自己評価ができる		
4	【授業単元】 口腔内写真の所見 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 口腔内写真やデータを基に患者を想像することができる 必要な予防処置を考え、歯科衛生過程のサイクルをどのように回すのかをチームで考えることができる			12	【授業単元】 患者実習リハーサル 【授業形態】 演習 【到達目標】 患者実習の流れについて通しリハーサルを行う 自分の苦手を理解し手技の確認ができる 評価表を基に自己評価ができる		
5	【授業単元】 歯科衛生アセスメント 【授業形態】 演習 【到達目標】 患者実習の術式から復習したい項目について相互実習を行うため、個々に準備してくること その項目について、実技試験の評価表を基に自己評価できる			13	【授業単元】 患者実習① 【授業形態】 演習 【到達目標】 術式の流れに沿って処置ができる 適切な声かけ等で安心できる処置を提供する		
6	【授業単元】 歯科衛生アセスメント 【授業形態】 演習 【到達目標】 患者実習の術式から復習したい項目について相互実習を行うため、個々に準備してくること その項目について、実技試験の評価表を基に自己評価できる			14	【授業単元】 患者実習① 【授業形態】 演習 【到達目標】 術式の流れに沿って処置ができる 適切な声かけ等で安心できる処置を提供する		
7	【授業単元】 歯科衛生介入 【授業形態】 演習 【到達目標】 患者実習の術式から復習したい項目について相互実習を行うため、個々に準備してくること その項目について、実技試験の評価表を基に自己評価できる			15	【授業単元】 患者実習リハーサル 【授業形態】 演習 【到達目標】 患者実習の流れについて通しリハーサルを行う 自分の苦手を理解し手技の確認ができる 評価表を基に自己評価ができる		
8	【授業単元】 歯科衛生介入 【授業形態】 演習 【到達目標】 患者実習の術式から復習したい項目について相互実習を行うため、個々に準備してくること その項目について、実技試験の評価表を基に自己評価できる			【評価について】 患者実習の実技試験 60点満点 患者実習の症例まとめ 40点満点 59点～0点の場合には実技＋筆記試験(架空症例問題) 実技が29点～0点の場合には別途補習を設定			
【特記事項】 忘れ物や身だしなみについて厳しく指導します。 実習生として適切な態度で受講してください。							

科目名 (英)	歯科衛生学実践 (Dental Hygiene Practice)	必修 選択	必修	年次	3年	担当教員	渡邊 香里
学科・専攻	歯科衛生士科 I 部	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60時間 (4)	開講区分 曜日・時間	前期 木曜日 3時限
【授業の学習内容と心構え】 歯科医院で主任歯科衛生士として予防処置業務を行っていた教員が、歯科予防処置論 I・II・III で学んだ内容を基礎に臨床実習や就職後のために知識を深め、技術を磨く。チームで業務を行う意識とイニシアチブが術者にあることを意識し取り組んでください。自ら学び、成長させる為、積極的にアドバイスをもらってください。							
【到達目標】 口腔疾患を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために必要な専門的な知識、技術および態度を修得する。 チーム医療、チーム歯科医療の一員としての歯科衛生士の役割を理解する。 人々のニーズに合った支援のため、歯科衛生のアセスメント・診断、計画立案、介入、記録、評価ができる。							
【使用教科書・教材・参考書】 最新 歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論				【授業外における学習】 1・2年生で学習したものを、臨床実習で身につけたものが土台となった授業です。技術はもちろんですが、知識も高めで授業に臨んでください。			
回	授業概要			回	授業概要		
16	【授業単元】 患者実習リハーサル 【授業形態】 演習 【到達目標】 患者実習の流れについて通しリハーサルを行う 自分の苦手を理解し手技の確認ができる 評価表を基に自己評価ができる			24	【授業単元】 患者実習リハーサル 【授業形態】 演習 【到達目標】 患者実習の流れについて通しリハーサルを行う 自分の苦手を理解し手技の確認ができる 評価表を基に自己評価ができる		
17	【授業単元】 患者実習② 【授業形態】 演習 【到達目標】 術式の流れに沿って処置ができる 適切な声かけ等で安心できる処置を提供する			25	【授業単元】 患者実習④ 【授業形態】 演習 【到達目標】 術式の流れに沿って処置ができる 適切な声かけ等で安心できる処置を提供する		
18	【授業単元】 患者実習② 【授業形態】 演習 【到達目標】 術式の流れに沿って処置ができる 適切な声かけ等で安心できる処置を提供する			26	【授業単元】 患者実習④ 【授業形態】 演習 【到達目標】 術式の流れに沿って処置ができる 適切な声かけ等で安心できる処置を提供する		
19	【授業単元】 患者実習リハーサル 【授業形態】 演習 【到達目標】 患者実習の流れについて通しリハーサルを行う 自分の苦手を理解し手技の確認ができる 評価表を基に自己評価ができる			27	【授業単元】 症例まとめ 【授業形態】 演習 【到達目標】 担当患者についての症例をまとめることができる		
20	【授業単元】 患者実習リハーサル 【授業形態】 演習 【到達目標】 患者実習の流れについて通しリハーサルを行う 自分の苦手を理解し手技の確認ができる 評価表を基に自己評価ができる			28	【授業単元】 症例まとめ 【授業形態】 演習 【到達目標】 担当患者についての症例をまとめることができる		
21	【授業単元】 患者実習③ 【授業形態】 演習 【到達目標】 術式の流れに沿って処置ができる 適切な声かけ等で安心できる処置を提供する			29	【授業単元】 症例まとめ 【授業形態】 演習 【到達目標】 担当患者についての症例をまとめることができる		
22	【授業単元】 患者実習③ 【授業形態】 演習 【到達目標】 術式の流れに沿って処置ができる 適切な声かけ等で安心できる処置を提供する			30	【授業単元】 症例まとめ 【授業形態】 演習 【到達目標】 担当患者についての症例をまとめることができる		
23	【授業単元】 患者実習リハーサル 【授業形態】 演習 【到達目標】 患者実習の流れについて通しリハーサルを行う 自分の苦手を理解し手技の確認ができる 評価表を基に自己評価ができる			【評価について】 患者実習の実技試験 60点満点 患者実習の症例まとめ 40点満点 59点～0点の場合には実技＋筆記試験(架空症例問題) 実技が29点～0点の場合には別途補習を設定			
【特記事項】 忘れ物や身だしなみについて厳しく指導します。 実習生として適切な態度で受講してください。							

科目名 (英)	キャリアデザインⅢ (Career DesignⅢ)	必修 選択	必修	年次	3年	担当教員	石見 杏奈
学科・コース	歯科衛生士科Ⅰ部	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	前期 金曜日 2時限
【授業の学習内容と心構え】 歯科衛生士として臨床現場での経験がある教員が、自分の体験談も踏まえ実習・就職・国家試験について動機付けを行う。また、これから歯科衛生士、社会人になるために必要なキャリア教育を行う。 実習・就職・国試の3本柱を意識し、歯科衛生士になる将来を想像して全力で1年間を過ごしてほしい。長期的な目標と短期的な目標を立て、一つずつ確実に達成してほしい。							
【到達目標】 臨床実習Ⅲ・Ⅳにむけて、対象者理解ができるようになる 将来の自分を想像し、歯科衛生士になる夢の実現を本気で考える 国家試験合格に向け、計画を立て実行する							
【使用教科書・教材・参考書】 臨床実習要綱、就職活動マニュアル その他配布プリント				【授業外における学習】 臨床実習の予習・復習 求人検索と医院見学 国家試験における自主学習			
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】1年間の行動計画 【授業形態】講義 【到達目標】 1年間の行動計画と目標を立てる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
2	【授業単元】就職活動について 【授業形態】講義 【到達目標】 就職における計画、目標を立てる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
3	【授業単元】国家試験について 【授業形態】講義 【到達目標】 模擬試験分析表の見方がわかる 勉強の始め方、自分に合った方法を考えることができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
4	【授業単元】中間試験/振り返り方法 【授業形態】筆記/講義 【到達目標】 模擬試験の振り返りをし、勉強の習慣を身につける				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
5	【授業単元】国家試験勉強方法 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 グループで学び合い、教え合いができるようになる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
6	【授業単元】国家試験勉強方法 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 グループで学び合い、教え合いができるようになる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
7	【授業単元】就職活動について 【授業形態】講義 【到達目標】 将来像を明確にし、どんな場所で就職したいかを考える 履歴書の準備ができる 具体的な行動計画を立てる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
8	【授業単元】定期試験/振り返り方法 【授業形態】講義 【到達目標】 模擬試験を深掘し、関連付けた勉強をすることにより、類似問題が解けるようになる				【評価について】 中間試験(40点満点) 実施方法: 筆記 定期試験(60点満点) 実施方法: 筆記		
【特記事項】							

科目名 (英)	衛生行政・社会福祉学 (Public Health Administration/Social Service)	必修 選択	必修	年次	3年	担当教員	有川 量崇・田口 千恵子
学科・コース	歯科衛生士科 I 部	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30時間 (2)	開講区分	前期
						曜日・時間	金曜日 3・4時限
【授業の学習内容と心構え】 衛生行政・社会福祉を学んだ教員が、実社会の経験も踏まえ、歯科衛生士をめざす学生の皆さんにわが国の法制度を習得してもらうことを目的に講義を進める。歯科衛生を取り巻く法律・制度などの変化は著しい。歯科医療を安定した形で安全に国民に提供するには、法制度の見直しと円滑な実施ができるような行政上の諸制度が必要となっている。そのため、歯科衛生士には法制度の変化を常に敏感に理解、認識することが求められていることを意識し授業に臨んでいただきたい。							
【到達目標】 歯科衛生士として必要な法・制度を学び、医療人として社会における役割と責任について理解し、修得することを目的とする。							
【使用教科書・教材・参考書】 最新 歯科衛生士教本 歯科衛生士と法律・制度				【授業外における学習】 授業前には教科書を読み、法律用語などについて理解を深めること。			
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】 衛生行政について 法制度の重要性について 【授業形態】 講義 【到達目標】 法治国家における法・制度の成り立ちと重要性に触れ、衛生行政の目的を理解し、その組織と所掌内容を把握する。			9	【授業単元】 地域保健法 健康増進法 口腔保健法 高齢者医療確保法 【授業形態】 講義 【到達目標】 地域歯科保健活動を詳細に把握し、各市町村での保健活動がどのように変わってきたか、その状況を理解する。 高齢者医療確保法における特定健診・特定保健指導を把握し、後期高齢者医療制度について理解を深める。		
2	【授業単元】 歯科衛生士法 I 歯科衛生士法の成り立ち 目的 【授業形態】 講義 【到達目標】 歯科衛生士法の経緯・概要について理解する。			10	【授業単元】 障害者総合支援法 食品衛生法 労働安全衛生法 感染症法 【授業形態】 講義 【到達目標】 障害者総合支援法を把握する。食品衛生法等の健康食品等に関連する規定について理解する。労働安全衛生法の目的、安全管理体制を理解する。感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の目的を理解する。		
3	【授業単元】 歯科衛生士法 II 免許 資格 業務 【授業形態】 講義 【到達目標】 歯科衛生士法の身分法としての、免許取得より実務に至るまで把握する。			11	【授業単元】 社会保障制度 【授業形態】 講義 【到達目標】 社会保障制度や生活保護、児童福祉等の社会福祉制度について理解する。		
4	【授業単元】 歯科医師法 歯科技工士法 【授業形態】 講義 【到達目標】 歯科医師法、歯科技工士法の関連医療従事者身分法について学習し、歯科衛生士との業務連携について理解する。			12	【授業単元】 介護保険法 地域包括ケア 【授業形態】 講義 【到達目標】 介護保険法の制定により地域で実施されるようになった、介護予防事業について、歯科保健と関連させて理解する。		
5	【授業単元】 医療法について 医療計画について 【授業形態】 講義 【到達目標】 医療の理念とともに医療施設を規定した医療法について理解する。			13	【授業単元】 医療保険制度について 【授業形態】 講義 【到達目標】 国民皆保険であるわが国の社会保険制度の概要と仕組みを理解する。		
6	【授業単元】 歯科医療と関わる医療関係者について 【授業形態】 講義 【到達目標】 歯科医療と関わる医療関係者について、法律とともに理解する。			14	【授業単元】 国民医療費について 医療経済について 【授業形態】 講義 【到達目標】 国民医療費や医療経済について、歯科保健と関連させて理解する。		
7	【授業単元】 薬事衛生法規 【授業形態】 講義 【到達目標】 薬事に関する法規について理解する。			15	【授業単元】 定期試験・解説 【授業形態】 試験 【到達目標】 本科目の到達目標到達度の確認を行い、習熟度を判断する。		
8	【授業単元】 母子保健法 学校保健安全法 食育基本法 【授業形態】 講義 試験 【到達目標】 妊産婦、乳幼児の保健サービスについて理解し、歯科衛生士として従事する場合の具体的役割について理解する。 幼稚園、学校における歯科保健教育活動の実践について理解する。 これまでの学修項目に対する到達度の確認のための試験を行う。			【評価について】 中間試験(40点満点) 実施方法;多肢選択式、記述式による筆記試験 定期試験(60点満点) 実施方法;多肢選択式、記述式による筆記試験 最終評価は中間と定期の合計100点満点で行う。			
【特記事項】 資料を配布するが教科書は必ず持参すること。							

科目名 (英)	歯科衛生総合演習 I (基礎科目系) (General dental hygiene exercise I)	必修 選択	必修	年次	3年	担当教員	石見 杏奈 他
学科・コース	歯科衛生士科 I 部	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60時間 (4)	開講区分 曜日・時間	後期 月～金曜日 1～4時限(時間割参照)
【授業の学習内容と心構え】 基礎科目系においてのスペシャリストが国家試験合格に向けて、各科目ごとに国家試験対策のための授業を行う。 国家試験の出題基準や出題範囲、出題傾向について把握し、過去問題を反復することにより問題理解を深められるようにする。							
【到達目標】 国家試験の出題傾向を知り、過去問題集を解く過程で解答を導き出し解答能力を高めて国家試験に合格する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授業概要			回	授業概要		
1・2	【授業単元】解剖学(担当教員:岸重人) 【授業形態】講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。			17・18	【授業単元】病理学(担当教員:添野雄一) 【授業形態】講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。		
3・4	【授業単元】解剖学(担当教員:岸重人) 【授業形態】講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。			19・20	【授業単元】栄養学(担当教員:田口千恵子) 【授業形態】講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。		
5・6	【授業単元】生理学(担当教員:石野竜平) 【授業形態】講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。			21・22	【授業単元】生化学(担当教員:西山勝弘) 【授業形態】講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。		
7・8	【授業単元】生理学(担当教員:石野竜平) 【授業形態】講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。			23・24	【授業単元】公衆衛生学(担当教員:田口千恵子) 【授業形態】講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。		
9・10	【授業単元】微生物学(担当教員:中西生美) 【授業形態】講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。			25・26	【授業単元】公衆衛生学(担当教員:田口千恵子) 【授業形態】講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。		
11	【授業単元】微生物学(担当教員:中西生美) 【授業形態】講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。			27・28	【授業単元】衛生行政・社会福祉学(担当教員:有川量崇) 【授業形態】講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。		
12・13	【授業単元】薬理学(担当教員:筒井健機) 【授業形態】講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。			29・30	【授業単元】衛生行政・社会福祉学(担当教員:有川量崇) 【授業形態】講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。		
14	【授業単元】薬理学(担当教員:筒井健機) 【授業形態】講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
15・16	【授業単元】病理学(担当教員:添野雄一) 【授業形態】講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。			【評価について】 模擬試験の合格ラインを基準に評価を行う			
【特記事項】							

科目名 (英)	歯科衛生総合演習 I (臨床科目系) (General dental hygiene exercise I)	必修 選択	必修	年次	3年	担当教員	石見 杏奈 他
学科・コース	歯科衛生士科 I 部	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60時間 (4)	開講区分 曜日・時間	後期 月～金曜日 1～4時限(時間割参照)
【授業の学習内容と心構え】 臨床科目系においてのスペシャリストが国家試験合格に向けて、各科目ごとに国家試験対策のための授業を行う。 国家試験の出題基準や出題範囲、出題傾向について把握し、過去問題を反復することにより問題理解を深められるようにする。							
【到達目標】 国家試験の出題傾向を知り、過去問題集を解く過程で解答を導き出し解答能力を高め国家試験に合格する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授業概要			回	授業概要		
1・2	【授業単元】 歯科放射線学(担当教員:須田英明) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。			20・21	【授業単元】 歯周治療学(担当教員:五十嵐寛子) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。		
3・4・5	【授業単元】 歯科矯正学(担当教員:今村竜太郎) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。			22・23・24	【授業単元】 高齢者歯科学(担当教員:須釜禎子) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。		
6・7	【授業単元】 小児歯科学(担当教員:新見嘉邦) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。			25・26	【授業単元】 障害者歯科学(担当教員:亀岡亮) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。		
8・9・10	【授業単元】 口腔外科学(担当教員:星野照秀) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。			27・28	【授業単元】 歯科介護学(摂食嚥下機能訓練)(担当教員:齋藤貴之) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。		
11・12・13	【授業単元】 歯科補綴学(担当教員:佐藤貴映) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。			29・30	【授業単元】 歯科介護学(義歯)(担当教員:齋藤貴之) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。		
14・15	【授業単元】 歯科保存学(担当教員:北大樹) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
16・17	【授業単元】 歯科保存学(担当教員:北大樹) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
18・19	【授業単元】 歯周治療学(担当教員:五十嵐寛子) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。				【評価について】 模擬試験の合格ラインを基準に評価を行う		
【特記事項】							

科目名 (英)	歯科衛生総合演習Ⅰ(歯科衛生士業務系) (General dental hygiene exerciseⅠ)	必修 選択	必修	年次	3年	担当教員	石見 杏奈 他
学科・コース	歯科衛生士科Ⅰ部	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60時間 (4)	開講区分 曜日・時間	後期 月～金曜日 1～4時限(時間割参照)
【授業の学習内容と心構え】 主要3科においてのスペシャリストが国家試験合格に向けて、各科目ごとに国家試験対策のための授業を行う。 国家試験の出題基準や出題範囲、出題傾向について把握し、過去問題を反復することにより問題理解を深められるようにする。							
【到達目標】 国家試験の出題傾向を知り、過去問題集を解く過程で解答を導き出し解答能力を高め国家試験に合格する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】 口腔衛生学(担当教員:一宮頼子) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。			9	【授業単元】 歯科予防処置論(担当教員:石見杏奈) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。		
2	【授業単元】 歯科診療補助論(担当教員:渡邊香里) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。			10	【授業単元】 口腔衛生学(担当教員:一宮頼子) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。		
3	【授業単元】 歯科診療補助論(担当教員:渡邊香里) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。			11	【授業単元】 歯科予防処置論(担当教員:石見杏奈) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。		
4	【授業単元】 歯科保健指導論(担当教員:本田美紀) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。			12	【授業単元】 歯科予防処置論(担当教員:石見杏奈) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。		
5	【授業単元】 歯科予防処置論(担当教員:石見杏奈) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。			13	【授業単元】 歯科保健指導論(担当教員:本田美紀) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。		
6	【授業単元】 口腔衛生学(担当教員:一宮頼子) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。			14	【授業単元】 口腔衛生学(担当教員:一宮頼子) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。		
7	【授業単元】 歯科保健指導論(担当教員:本田美紀) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。			15	【授業単元】 歯科診療補助論(担当教員:渡邊香里) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。		
8	【授業単元】 歯科予防処置論(担当教員:石見杏奈) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。			【評価について】 模擬試験の合格ラインを基準に評価を行う			
【特記事項】							

科目名 (英)	歯科衛生総合演習Ⅰ(歯科衛生士業務系) (General dental hygiene exerciseⅠ)	必修 選択	必修	年次	3年	担当教員	石見 杏奈 他
学科・コース	歯科衛生士科Ⅰ部	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60時間 (4)	開講区分 曜日・時間	後期 月～金曜日 1～4時限(時間割参照)
【授業の学習内容と心構え】 主要3科におけるのスペシャリストが国家試験合格に向けて、各科目ごとに国家試験対策のための授業を行う。 国家試験の出題基準や出題範囲、出題傾向について把握し、過去問題を反復することにより問題理解を深められるようにする。							
【到達目標】 国家試験の出題傾向を知り、過去問題集を解く過程で解答を導き出し解答能力を高め国家試験に合格する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授業概要			回	授業概要		
16	【授業単元】 歯科診療補助論(担当教員:渡邊香里) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。			24	【授業単元】 口腔衛生学(担当教員:一宮頼子) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。		
17	【授業単元】 歯科予防処置論(担当教員:石見杏奈) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。			25	【授業単元】 歯科保健指導論(担当教員:本田美紀) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。		
18	【授業単元】 歯科保健指導論(担当教員:本田美紀) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。			26	【授業単元】 歯科診療補助論(担当教員:渡邊香里) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。		
19	【授業単元】 口腔衛生学(担当教員:一宮頼子) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。			27	【授業単元】 歯科予防処置論(担当教員:石見杏奈) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。		
20	【授業単元】 口腔衛生学(担当教員:一宮頼子) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。			28	【授業単元】 口腔衛生学(担当教員:一宮頼子) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。		
21	【授業単元】 歯科保健指導論(担当教員:本田美紀) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。			29	【授業単元】 歯科予防処置論(担当教員:石見杏奈) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。		
22	【授業単元】 口腔衛生学(担当教員:一宮頼子) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。			30	【授業単元】 歯科保健指導論(担当教員:本田美紀) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。		
23	【授業単元】 歯科予防処置論(担当教員:石見杏奈) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。			【評価について】 模擬試験の合格ラインを基準に評価を行う			
【特記事項】							